



ボランティア・サポート・プログラムってなあに？

地域や企業の皆さんに道路の美化清掃等に参加していただき、皆さんと共に快適な道づくりを進めます。

道路を慈しみ、住んでいるところをきれいにしたいという自然な気持ちを、形あるものにしようと考え出されたのが、「ボランティア・サポート・プログラム」です。アメリカでの、ボランティアの人たちが道路を我が子のように面倒を見ている「アダプト・ア・ハイウェイ・プログラム」からヒントを得ています。「みち」をきれいにしようという活動から始めて、地域コミュニティの活性化が期待できます。



↑ 散乱ゴミ清掃に携わるグリーン夫婦

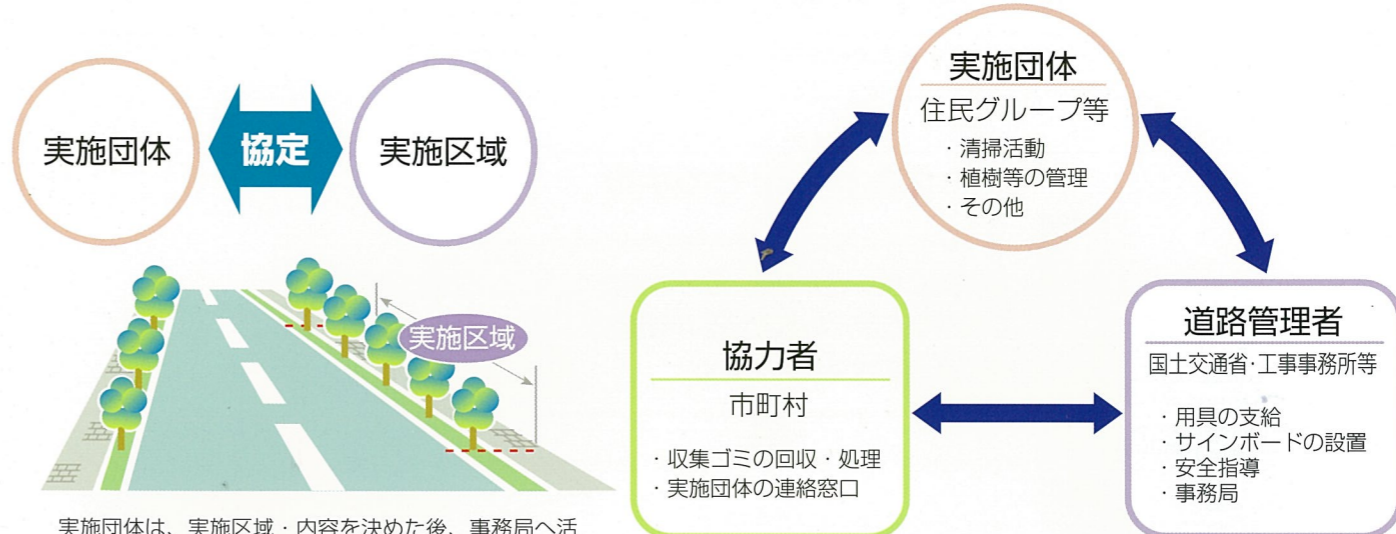
← タイラーシビタンクラブの活動



ボランティア・サポート・プログラムの仕組み

基本要素

プログラムの仕組み



実施団体は、実施区域・内容を決めた後、事務局へ活動の希望を申し出ます。道路管理者・協力者との3者間で協定を結び、文書で決めた内容に基づき清掃・植樹管理などを行うこととなります。



日本での取組み事例紹介

ふれあい海道

高知県

交通安全協会 芸西分会



私たちは、住民の交通安全を願うことはもとより、道路の清掃を行うことで、芸西村の表玄関である西分地区がイメージアップするよう、「清々しい活気あふれる園芸の村へようこそ!」との思いで美化活動に取り組んでいます。(代表: 別役 淳さん)

吉良川「花と緑の会」



私たちは花壇の管理をしています。花を植えた後は、天候や育ち具合にあわせてその都度手入れが必要ですが、みんな楽しんで活動しています。生き生きと活動でき、みんなと親睦を深めることもできるのが一番ですね。(代表: 熊懐 秀登さん)

花いっぱい運動

栃木県

上蒲生南老人クラブ

道路沿いの花壇の管理をしています。草取りや花の世話がしっかりとできて道路がキレイになるといことで、皆さん喜んで参加してくださっています。花壇も月に一度程度の作業で維持できるちょうどいい大きさなので、今後も皆さんと一緒にカンナを育てて、きれいな道路にしていきたいと思えます。(代表: 森 清さん)



小山市立羽川小学校



「愛の橋」という名で親しまれている日本で最初の歩道橋への感謝の気持ちから始まった活動ですが、年に3回の全校美化活動の一環として行っている歩道と歩道橋の清掃に加えて、植樹帯で花を育てる活動を行っています。自分たちが道路の清掃をしたり、花を植えたりすることによって、将来道路を汚さない大人になるという気持ちが育ってくれることを願っています。(古島 淑子校長先生)

サインボードの設置

このプログラムは、実施団体名を明記したサインボードを実施区域内に立て、クリーンな活動を行っていることを表明しています。



この花壇は、私たち **奈半利中学校** が管理しています。

